長崎市立大園小学校学校だより

「できた！」

令和４年　４月　６日

No. 1

文責　校長　木下　和敏

「できた！」～未来を描き　夢を磨く～

３７７名の子どもたちの令和４年度がスタートしました。子どもたち一人一人が日々の「できた！」を実感し、自分のよさを伸ばせる１年間にしたいと思っています。自分の生きる未来（希望とする社会）をしっかりと心で描き、その中で自分らしく生きる夢を抱き、磨いていける大園小学校にしたいと思います。そのためには、保護者の皆様、地域の方々のご理解・ご支援をいただくことが不可欠となります。一年間よろしくお願いいたします。

【第１学期始業式 校長講話（一部抜粋）】

今年の大園小学校の学校教育目標は「『できた！』未来を描き　夢を磨く」です。そのために、三つのことを心にとめて、勉強に遊び、学級での生活に取り組んでください。

一つ目は「やる気いっぱいの子ども」です。勉強でも生活でも「あれ？」「なぜ？」「どうして？」という疑問や不思議さに気づき、自分なりの考えをもって、友達と力を合わせながら解決していく子どもになってほしいと思います。国語や算数など、たくさんのことを勉強します。これらの学習は、みなさんが、よりよく成長し、自分の夢や希望を叶えるために必要な力をつけるための大切な学びです。どの教科の勉強も大切ですが国語の学習を例に話をします。みなさんは「おはようございます」「ありがとうございます」という言葉を上手に使うことができていますか。二つの言葉は、人と人との心をつなぐ言葉で、一番、大切にしてほしい言葉です。国語は言葉を学ぶ学習です。言葉がもつ意味を知ることで、友達が話していることを理解したり、自分が伝えたいことを正しく伝えたりすることができるようになります。国語の勉強は、人との交流がより楽しくなる源になります。「おはようございます」「ありがとうございます」など私たちの生活に欠かせない言葉をきちんとつかえるようになりましょう。

二つ目は、「やさしさいっぱいの子ども」です。自分や友達の良さに気付く優しい心を持ち、行動に表せる子どもになってほしいと思います。たくさんの人が同じ教室で生活するなかでは、困ったことが起きるかもしれません。困ったことが起きたときに、ふと立ち止まって「自分にできることがあったかも」と考えてみてください。また、友達が悩んだり悲しい思いをしたりすることがあるかもしれません。友達の立場や思いを想像し、友達を思いやる言葉をかけてあげたり、横に座ってあげたりしてみてください。「私がいっしょにいるよ」という心のメッセージは、きっと悩んでいる友達の心に届くと思います。一人一人、「みんな違って、みんないい」。それぞれに良さがあり、得意なことと苦手なことがあります。お友達の良さに気付き、その良さを認め、大切にしていく子どもになってほしいと思います。

三つ目は、「元気いっぱいの子ども」です。苦手なことでも我慢して挑戦し、粘り強くやりとげる強い心と体を育てる子どもになってほしいと思います。毎日の生活を規則正しく送ることも大切です。学校のルールや集団生活のマナーを守ることも大切です。休み時間などは友達と一緒に元気に運動を走り回ってほしいと思いますが、廊下は「はさみ歩き」を心掛けるのがたくましい子どもです。自分で決めたことは最後までやり通す強い心も持ってください。

職員紹介（敬称略）

１年１組担任	６年１組担任	専科等担当	図書館司書
１年２組担任	６年２組担任		初任研指導員
２年１組担任	たんぽぽ１組		庁務員
２年２組担任		養護教諭	教頭
２年３組担任	たんぽぽ２組	事務主幹	校長
３年１組担任	ひまわり１組	事務職員	
３年２組担任	ひまわり２組	支援員	
４年１組担任	こすもす		
４年２組担任	なかよし		
５年１組担任	ことばの教室	ALT	
５年２組担任		EEI	